第 5 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和6年 4 月 18 日

定 例 会

令和6年第5回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年4月18日
 招集の場所 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
 開閉会日時 開会4月18日 午前10時00分
 閉会4月18日 午後11時45分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職 務 代 理 者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平
委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	會 田 修	学 校 教 育 部 副 部 長 兼 学 校 管 理 課 長	五 十 嵐 治
教育総務部 副 参 事 兼 生涯学習課長	川 澄 大 治	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 学 務 課 長 兼 小 中 一 貫 校 整 備 室 長	磯 山 貴 則
スポーツ振興 課 長	坂 卷 孝 二	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
図 書 館 長	茂 木 実	給 食 課 長	平 野 浩 孝
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	小 抜 麻 衣 子	教 育 セ ン タ ー 所 長	菊 池 邦 隆
出羽公民館長	中 村 清 彦	学 校 管 理 課 調 整 幹	杉 田 直 也
		給 食 課 調 整 幹 兼 第 一 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	益 本 雅 行
		教 育 セ ン タ ー 調 整 幹	浜 崎 重 靖

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 調 整 幹	鈴 木 理 香
----------------	---------

	議 事	てん末
議 事 状 況	教育長報告	
	・教育長専決第7号について	(秘密会)
	・教育長専決第8号について	(秘密会)
	・教育長専決第9号について	(秘密会)
	議 案	
	・第21号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について	原案可決
	・第22号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について	原案可決
	・第23号議案 越谷市障害児就学支援委員会委員の委嘱について	原案可決
	・第24号議案 越谷市学校給食運営委員会委員の委嘱について	原案可決
	・第25号議案 令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校 使用教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について	原案可決
	・第26号議案 越谷市生涯学習審議会委員の委嘱について	原案可決
	・第27号議案 越谷市科学技術体験センター運営委員会委員の委嘱について	原案可決
	・第28号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について	原案可決
	その他	
	・令和6年度学級編制（令和6年4月1日現在）について	
	・令和5年度児童生徒結核精密検査の実施状況について	
	・越谷市立小中学校学区審議会答申について	
・越谷市立大袋小学校水泳授業委託について		

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより4月の定例教育委員会会議を開会いたします。

なお、議事に入ります前に、4月1日付で事務局の人事異動がございましたので、ここで改めて教育委員会会議に出席する職員を紹介いたします。

教育総務部長。

小泉教育総務部長 それでは、教育総務部の職員から紹介をさせていただきます。

私は、教育総務部長の小泉隆行でございます。よろしくお願いいたします。

次に、會田修教育総務部副参事（兼）教育総務課長でございます。

川澄大治教育総務部副参事（兼）生涯学習課長でございます。

坂巻孝二スポーツ振興課長でございます。

茂木実図書館長でございます。

小拔麻衣子生涯学習課調整幹（兼）科学技術体験センター所長でございます。

中村清彦出羽公民館長でございます。

なお、本日は出席しておりませんが、飯田文洋大相模公民館長が今年度の教育委員会会議に出席いたします。

教育総務部につきましては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

吉田教育長 学校教育部長。

青木学校教育部長 続きまして、学校教育部の職員をご紹介します。

私は、学校教育部長の青木元秀でございます。よろしくお願い申し上げます。

五十嵐治学校教育部副部長（兼）学校管理課長でございます。

磯山貴則学校教育部副参事（兼）学務課長（兼）小中一貫校整備室長でございます。

千嶋淳一指導課長でございます。

平野浩孝給食課長でございます。

菊池邦隆教育センター所長でございます。

杉田直也学校管理課調整幹でございます。

益本雅行給食課調整幹（兼）第一学校給食センター所長でございます。

浜崎重靖教育センター調整幹でございます。

なお、本日は出席しておりませんが、二瓶剛指導課調整幹が今年度の教育委員会会議に出席いたします。

以上をもちまして紹介とさせていただきます。

吉田教育長 それでは、議事進行に入ります。

本定例会に関し、1名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、教育長専決第7号から第

9号については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

吉田教育長 ここで、傍聴人の入室を許可します。

〔傍聴人入室〕

-
- ◎第21号議案 「越谷市学校運営協議会委員の任命について」
 - 第22号議案 「越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について」
 - 第23号議案 「越谷市障害児就学支援委員会委員の委嘱について」
 - 第24号議案 「越谷市学校給食運営委員会委員の委嘱について」
 - 第26号議案 「越谷市生涯学習審議会委員の委嘱について」
 - 第27号議案 「越谷市科学技術体験センター運営委員会委員の委嘱について」
 - 第28号議案 「越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について」

吉田教育長 続きまして、第21号議案から第24号議案及び第26号議案から第28号議案につきましては、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴う附属機関の委員の委嘱または任命に係る案件でございますので、一括して所管課所長から説明後、各議案に対する質疑、討論を行うことといたします。

第21号議案、指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第21号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の15ページをご覧ください。

第21号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について。

令和6年度越谷市学校運営協議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立蒲生南小学校他4校の令和6年度学校運営協議会委員について、選出母体における令和6年度の役職改選並びに地域住民等の学校運営への参画を促進することに伴い、新たに委員を任命するため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の17ページをご覧ください。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等について申し上げます。また、任期は令和7年3月31日まででございます。なお、敬称については省略させていただきます。

令和6年度蒲生南小学校学校運営協議会委員。

3号委員、飯田泰則、PTA役員、新任。

令和6年度東中学校学校運営協議会委員。

3号委員、須田俊弥、県立越谷東高等学校校長、新任。

令和6年度南中学校学校運営協議会委員。

2号委員、白戸寛之、おやじの会会長、新任。

令和6年度栄進中学校学校運営協議会委員。

3号委員、齋藤将宏、大沢地区センター所長、新任。

令和6年度平方中学校学校運営協議会委員。

3号委員、若菜健一、県立越谷北高等学校校長、新任。

続きまして、会議要項の18ページ及び19ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた5名を加えた、令和6年4月18日現在の5校の令和6年度学校運営協議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただきたいと思います。

第21号議案についての説明は、以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第22号議案、学務課長。

磯山学務課長 それでは、第22号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の21ページをお開きください。

第22号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について。

越谷市立小中学校学区審議会委員を次のとおり委嘱するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等について順次ご説明させていただきます。その際、敬称については省略させていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和6年8月7日まででございます。

越谷市立小中学校学区審議会委員。

2号委員、岡本順、越谷市小学校長会・川柳小学校長、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、佐々木清氏の後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の22ページをお開きください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた1名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市立小中学校学区審議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただければと存じます。

第22号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第23号議案、教育センター所長。

菊池教育センター所長 それでは、第23号議案 越谷市障害児就学支援委員会委員の委嘱についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の23ページをご覧ください。

第23号議案 越谷市障害児就学支援委員会委員の委嘱について。

越谷市障害児就学支援委員会委員を次のとおり委嘱するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等について、ご説明させていただきます。その際、敬称については省略させていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和7年3月31日まででございます。

越谷市障害児就学支援委員会委員。

3号委員、古橋立哉、越谷市小学校長会・平方小学校長、新任。

3号委員、山本幸江、埼玉県立越谷西特別支援学校・教諭、新任。

3号委員、飛田明子、越谷市立桜井南小学校・教諭、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、齋藤紀義氏、鈴木風太郎氏、藤村千恵子氏の後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の24ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた3名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市障害児就学支援委員会委員名簿（案）を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

第23号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 第24号議案、給食課長。

平野給食課長 それでは、第24号議案 越谷市学校給食運営委員会委員の委嘱について、ご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の25ページをお開きください。

第24号議案 越谷市学校給食運営委員会委員の委嘱について。

越谷市学校給食運営委員会委員を次のとおり委嘱するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等について順次ご説明させていただきます。その際、敬称につきましては省略させていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和7年6月30日まででございます。

越谷市学校給食運営委員会委員。

1号委員、菅野敦子、越谷市小学校長会・新方小学校長、新任。

1号委員、重岡勝之、越谷市小学校長会・大袋小学校長、新任。

1号委員、秋元伸也、越谷市小学校長会・大相模小学校長、新任。

1号委員、岡村勝成、越谷市小学校長会・大沢北小学校長、新任。

1号委員、小峰俊章、越谷市小学校会・城ノ上小学校長、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案の理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、鈴木方子氏、長谷川裕晃氏、杉本功氏、北原広泰氏、杉井みどり氏の後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の26ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた5名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市学校給食運営委員会委員名簿（案）を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

第24号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

吉田教育長 第26号議案、生涯学習課長。

川澄生涯学習課長 それでは、第26号議案 越谷市生涯学習審議会委員の委嘱について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の31ページをご覧ください。

第26号議案 越谷市生涯学習審議会委員の委嘱について。

越谷市生涯学習審議会委員を次のとおり委嘱するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等について申し上げます。なお、敬称については省略させていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和7年6月30日まででございます。

越谷市生涯学習審議会委員。

3号委員、岡本順、越谷市小学校長会・川柳小学校長、新任。

3号委員、中田英、越谷市中学校長会・西中学校長、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、佐々木清氏、大山亨氏の後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の32ページをご覧ください。ご参考までに、今回提案させていただいた2名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市生涯学習審議会委員名簿（案）を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

第26号議案についてのご説明は、以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

吉田教育長 第27号議案、科学技術体験センター所長。

小抜科学技術体験センター所長 それでは、第27号議案 越谷市科学技術体験センター運営委員会委員の委嘱について、説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の33ページをお開きください。

第27号議案 越谷市科学技術体験センター運営委員会委員の委嘱について。

越谷市科学技術体験センター運営委員会委員を次のとおり委嘱するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等についてご説明させていただきます。
なお、敬称は省略させていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和7年11月7日まででございます。

越谷市科学技術体験センター運営委員会委員。

2号委員、小崎賢司、越谷市小学校長会・南越谷小学校長、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、鈴木雅彦氏の後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の34ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた1名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市科学技術体験センター運営委員会委員名簿（案）を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

第27号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

吉田教育長 第28号議案、スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 それでは、第28号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の35ページをご覧ください。

第28号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について。

越谷市スポーツ推進審議会委員を次のとおり任命するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等を説明させていただきます。なお、敬称については省略をさせていただきます。

また、任期は前任者の残任期間となり、令和6年7月31日まででございます。

2号委員、上野雅祥、越谷市中学校長会・千間台中学校長、新任。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、新坂晃良氏の後任委員を任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の36ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただきました1名を加えた、令和6年4月18日現在の越谷市スポーツ推進審議会委員名簿（案）を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

第28号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

はじめに、第21号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について、ご質問またはご意見等がございますか。会議要項の15ページになります。

東委員。

東委員 学校運営協議会の委員ですが、他の委員会は選出母体が分かりやすいのですけれども、この学校運営協議会の選出母体というのは、例えばおやじの会から1人というようなことが学校ごとに決まっているのでしょうか。選出母体となると、どうしてもそう解釈してしまうのですけれども。あるいは、選んだ方の所属がここだというのは分かるのですけれども、選出母体ということは、そこから選出されたと解釈できるのですが、この辺の説明をしていただければと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 選出母体となっておりますが、特に学校ごとに決まっているわけではございません。

1号委員に関しましては地域の住民の方、2号委員に関しては保護者、3号委員に関しては学校運営に関する活動を行う者となっております、例えばおやじの会やPTA等といった幅広く学校に関わっている方々と思われまます。4号委員に関しましては、公募も含めまして教育委員会が認めた者となっております、特に学校で決まっているということではございません。

吉田教育長 つまり、1号委員として提案する方は、1号委員となる選出母体は複数あるから、それをこれにするというふうに学校で決まっているわけではない、ということですか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 そのとおりでございます。

吉田教育長 東委員。

東委員 分かりました。選出というとそこから選出されたような感じがしたので、選出母体ではないのですね。表記の検討課題かと思えます。

吉田教育長 表にまとめるために、他の附属機関と同じようにということがあるので、検討してもらえますか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 検討したいと思えます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

今回この学校運営協議会委員については、加えたものなのか、それとも今回役職改選等で新たに変わったものなのかが分かりますか。

指導課長。

千嶋指導課長 役職改選に伴って変更したものと聞いております。

吉田教育長 改めて加えたわけではないということですか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、これより第21号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第22号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等
はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 小中学校学区審議会の主な役割は何でしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 本審議会の主な役割は、教育委員会の諮問に応じて学区編成に関し必要な調査及び
審議を行っていただくことでございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 コミュニティ推進協議会の方が多数お名前を連ねているのですが、コミュニティ推進協
議会の役割はとても大切だということでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 学区の編成に関しましては、それぞれ地域の方々のご意見を伺うというのが非常に
重要となっているところです。その点で、13地区の方々それぞれの代表の方を選出していただい
ているわけでございます。一方、審議会には女性の審議会委員も必要ということがございます。
自治会長の方ですと男性が多く偏りが出てしまうことから、多様な選出が可能なコミュニティ推
進協議会の中からという状況がございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、これより第22号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第23号議案 越谷市障害児就学支援委員会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等
はございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、これより第23号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第24号議案 越谷市学校給食運営委員会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等がございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 委員の役職を見ても校長先生なのですけれども、この委員会の主な役割を教えてください。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 この委員会の役割は、まず学校給食費に関する事、それから給食物資、献立に関する事、食育に関する事、その他学校給食の実施に関する事の以上4点でございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 例えば保護者の方も委員になれる可能性はあるのですか。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 第2号委員にPTAの方がおります。保護者の方の代表ということで認識しております。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 献立に関して検討するという事ですけども、管理栄養士など栄養面での専門家はいらっしゃるのでしょうか。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 栄養面に関する専門の方と申しますと、7号委員に市の食生活改善推進委員の方が2名おりますので、その方をお願いしております。

吉田教育長 この委員会の物資部会には、専門家が入っているのですよね。

給食課長。

平野給食課長 特に物資部会に給食の専門の方が、献立部会に栄養士が入っております。その中で内容については精査しているところでございます。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 物資部会と運営委員会との関係性はどのようなものですか。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 学校給食運営委員会の下部組織として、物資部会と献立部会がございます。例えば物資部会では、委員の方が実際に給食の試食をしたり、物資の価格からその月の物資を選定したりというように、携わっていただいているということでございます。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 運営委員会というのは、物資部会を監督するような立場ということでよろしいのですか。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 監督というよりは、運営委員会は、物資部会であれば物資部会に実際に物資を選んでいただくという立場になります。

吉田教育長 委員会でご意見、ご提言をいただいた上で、物資部会で検討して物資を決めていく、あるいは献立部会は献立を決めていく、という形ですか。

平野給食課長 そのとおりでございます。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 運営委員会に、管理栄養士や管理栄養士の資格を持っている方等の栄養面について詳しい方が、複数入っていた方が献立面に関してはより専門的な、抜けがないチェックができるのではないかと思います。

吉田教育長 より専門的なご意見をいただくために、構成委員を少し考えたらどうですかということなのですが、この7号委員の中にそれが十分満たされているなら、それでよしとするということだと思いますが、その辺の確認は大丈夫ですか。

給食課長。

平野給食課長 ご指摘いただいたように、栄養面については専門の方にご審議いただくということと、給食自体が学校の中で実際に食べられているので、児童生徒の顔や判断が分かる校長先生等からもご意見をいただきながら進めていきたいと思えます。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 委員構成のバランス的に校長先生が多かったりするので、もちろん校長先生の意見は大事だと思うのですが、客観的な評価というのも同時に並行していく必要があると思えました。なお一層協議会の方、食生活改善推進委員の方にもご意見をよく聞くようにして、栄養バランスのとれた給食をより一層目指していただけたらと思えます。

吉田教育長 学校医、歯科医、あるいは薬剤師等、バランスよく委員に入れてはいるのだけれども、人数のバランスを今委員さんからご提言いただきましたので、検討してみてください。

東委員。

東委員 1点、教えてほしいのですが、ご説明の中で給食費に関することとおっしゃったと思うのです。以前教育委員会会議でも給食費の徴収方法を変更していくことを審議したと思うのです。給食費に関連した、徴収方法を含めてですが、この委員メンバーの選出母体でよいのかという、徴収の仕方が変わったことに関連した委員というのは必要なのではないかと思います。その辺ご説明いただければと思えます。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 確かに学校給食費そのものの検討については、また別の考え方で検討していく必要があるかと思えます。この給食運営委員会の中では、実際に物資の価格の面について選定をいただいて、その中で給食費に影響する部分についてのご審議をいただくということで構成されてお

ります。

吉田教育長 東委員。

東委員 給食費の徴収に関することは、この委員会では扱わないということでもよろしいでしょうか。

吉田教育長 給食課長。

平野給食課長 おっしゃるとおり、給食費徴収に関してはまた別の考えで進めていきたいと思えます。

吉田教育長 給食費の改定については、教育委員会が定めることとなりますので、学校給食運営委員会とは別の機関ということだと、お聞きいただければと思います。

他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第24号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

[「異議なし」と答える者あり]

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第26号議案 越谷市生涯学習審議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等がございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 本審議会の主な役割を教えてください。

吉田教育長 生涯学習課長。

川澄生涯学習課長 本市における生涯学習の推進を図るため、社会教育に関すること、家庭教育に関すること、その他生涯学習の推進に関することについて調査、審議をしていただくという審議会でございます。

例えば公民館でいろいろな市民向けの主催事業がございますが、幅広い年齢層からどうしたら参加をいただけるかですとか、越谷市の総合振興計画また教育振興基本計画の策定年度の前の年に、市民に向けて市政世論調査があるのですが、そこでいただいた回答内容等についてご意見をいただくなどしております。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第26号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

[「異議なし」と答える者あり]

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第27号議案 越谷市科学技術体験センター運営委員会委員の委嘱について、ご質問また

はご意見等はございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第27号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第28号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご質問またはご意見等がございますか。

山口委員。

山口委員 スポーツ推進という漠然と聞こえてしまうのですけれども、具体的にどんなことを協議されているか、教えてください。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

坂巻スポーツ振興課長 主にスポーツの推進計画に関する事、スポーツ施設の設備の整備、また運営に関する事などを主に協議していただいております。

令和5年度につきましては、2回開催しております、教育行政重点施策について、屋内、屋外体育施設の利用状況について、当初予算について、教育委員会の事業に関する点検評価についてなどをご協議いただいております。地域スポーツセンターが設立され、内覧会もご案内させていただいたところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第28号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎第25号議案 「令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について」

吉田教育長 続きまして、第25号議案「令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第25号議案 令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の27ページをご覧ください。

第25号議案 令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について。

令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員を、別紙のとおり委嘱又は任命するものとする。

令和6年4月18日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、令和7年度使用中学校教科用図書採択にあたり、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会条例に基づき、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員を委嘱または任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の29ページをお開きください。越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会条例第3条第1項の規定により、委員16人以内で組織するものとされております。

また、構成は、同条第2項の規定に基づき、1号委員として「学校に在籍する児童または生徒の保護者」2号委員として「教科書の採択について識見を有する者」3号委員として「学校の校長または教頭」となっております。

今年度は、中学校教科用図書17種目の採択年度であることから、教育としての高い専門性を維持するとともに、多面的、多角的な視点から調査研究を行い、採択のために有効な資料を作成するため、14人の委員を委嘱または任命いたします。

任期は、同条例第4条において、委嘱または任命の日から当該日の属する年の8月31日までと規定されており、今回委嘱または任命させていただく委員の皆様につきましては、令和6年5月10日から令和6年8月31日までとなります。

名簿は、選出区分、氏名、選出母体・役職等、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。その際、任期及び敬称については省略をさせていただきます。

はじめに、1号委員ですが、小泉智子、越谷市PTA連合会・常任理事。

田部井亜津子、越谷市PTA連合会の計2名でございます。

次に、2号委員ですが、石塚保二、元埼玉県公立小中学校校長の1名でございます。

最後に、3号委員ですが、神田博之、越谷市立大相模中学校校長。

鈴木秀明、越谷市立大袋東小学校校長。

萩原弘之、越谷市立北中学校校長。

石山秀樹、越谷市立中央中学校校長。

伊東猛、越谷市立光陽中学校教頭。

岡村勝成、越谷市立大沢北小学校校長。

山崎京子、越谷市立富士中学校教頭。

生方基之、越谷市立南中学校教頭

原田肇子、越谷市立新栄中学校校長。

伊藤裕介、越谷市立大袋中学校教頭。

木野内英雄、越谷市立平方中学校校長の計11名でございます。

第25号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

東委員。

東委員 先ほど条例で、1号委員、2号委員、3号委員のそれぞれの役割をお話しされたのですが、

2号委員が識見を有する者ということで、たった1名なのですけれども、条例ではその人数は決められていないということよろしいのでしょうか。1名入っていればよいということですか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 条例に関しまして、今人数の把握をしておりませんので、後ほど確認させていただきます。ご回答いたします。

吉田教育長 学校教育部長。

青木学校教育部長 人数につきましては、総数で示しています。16人以内としておりまして、その中で何号委員が何名という規定にはなってはございません。ただ、種目別に人選をしていく、例えば校長先生方、教頭先生方は、基本的に種目別で選定をさせていただきますので、16名から種目数を除き、保護者、そして識見を有する者としてございます。特に決まりはございませんけれども、この条例制定以来、基本的には保護者が2名、有識者1名という形で進めてきたところでございます。

吉田教育長 名簿だけを見ると校長先生が多くなっていますけれども、今言ったように種目別の専門家ということで見ただけだとありがたいです。ここだけ1名というような形で出てくるとご理解いただけるかということですか。

学校教育部長。

青木学校教育部長 おっしゃるとおりでございます。NO. 3から国語、社会、数学というふうに順番に種目別の専門家ということになっております。今回は中学校ですので、11種目11部会でございますので、14名。小学校ですと2部会2名を加え、13部会で最大16名という形で選出をさせていただきます。

吉田教育長 先ほどの小中学校学区審議会でも地区ごとに選ばれた、そういうような感じと受け止めていただければいいのかと思います。

よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、これより第25号議案を採決いたします。

本案は、原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎その他 「令和6年度学級編制（令和6年4月1日現在）について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和6年度学級編制（令和6年4月1日現在）について」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、令和6年度学級編制（令和6年4月1日現在）について、ご報告いたします。

小学校と中学校がございますので、よろしくお願ひいたします。

はじめに、会議要項37ページ、小学校の一覧表をご覧ください。なお、表の中央と右端の比較増減の欄にあります黒の三角印は減を表しています。

表中央の下の合計欄にあります、令和6年4月1日現在の在籍児童数は1万7,236人でございます。昨年度に比べ93人の減となっております。

また、表右端の下の合計欄にあります、学級数は663学級でございます。昨年度と比べ14学級の増となっております。

次に、会議要項の39ページをご覧ください。中学校の一覧表でございます。表中央の下の合計欄にあります、令和6年4月1日現在の在籍生徒数は8,386人でございます。昨年度に比べ137人の減となっております。また、表右端の下の合計欄にございますが、学級数は267学級でございます。昨年度に比べ7学級の減となっております。

ご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 いわゆる3学園に該当する小学校ですけれども、大相模小、明正小は減になってきているので、ピークは過ぎたのかなという印象を受けました。川柳小につきましては、ピークとして、今後何年度に増となるのでしょうか。分かっている範囲で教えていただければと思います。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 住民基本台帳上でいいますと、令和11年までずっと増加の傾向を示しておるところです。それ以降については、今のところまだ出生していない状況ですので、比べることはできませんが、まだまだ増加傾向が見込まれます。おっしゃるとおり、明正小等につきましてはピーク

は過ぎたというところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 37、39ページとも、網かけは標準学級数と差異のある学級とはどういう意味でしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 まず、小学校でございますが、網かけの学校は12校ございます。1学級の児童生徒数は法で定められているところでございますが、埼玉県においては学級編制の特例がございます。小学校5年生までが国で35人学級を実施しておりますが、6年生については埼玉県の特例において35人学級を実施しており、その埼玉県の特例で35人学級を実施しているところが網かけになっております。中学校につきましては、中学校1年生について国は40人でございますが、埼玉県では38人ということで、弾力的運用を図っていますので、その38人学級を実施しているところが網かけの2校でございます。

吉田教育長 小学校6年生については、本市では35人学級を実施しておりますので、その状況でいくと学級数が増えている場合について網かけをしているということによろしいですか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 はい。網かけがないところについては、もう既に35人学級ができているということでございます。

吉田教育長 足立委員。

足立委員 在籍児童数の表で2つ数字があつて、下が在籍児童数、その上の数字は何を表しているのですか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 それぞれの学校、上段、下段と数字が分かれているところですが、これは右上をご覧ください。上段は特別支援学級の在籍児童数となっております。下が通常学級の在籍児童数でございます。

吉田教育長 小学校は93人減なのだけれども、学級数は14増えている。この補足説明はありますか。学務課長。

磯山学務課長 1つは、先ほど申し上げたとおり、学級数が増えているのは今年度から第6学年で35人学級を実施していることが挙げられます。もう一つは、特別支援学級の数が増えているという状況がございますので、そういう点では学級数が増えているということでございます。

吉田教育長 中学校は、児童数、学級数が同様に減っていますが、35人学級を実施していないからですか。もう一点、住民基本台帳上でいいのですけれども、今後の見通しというのか、相対的な人口はピークを脱したというようなことになっていきますけれども、児童生徒数は今後どういったような推移になるのでしょうか。

学務課長。

磯山学務課長 今後の推移でございますが、小学校においては児童数、令和11年度においては約1万5,500人ということで、現在の状況から1,600人の減、中学校におきましては令和11年度8,200人ということから約200人の減、両方合わせますと1,800人の減が今後5年間ぐらいで予想されるというところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 川柳小学校の特別支援学級が生徒数ゼロなのですけれども、何かこれは特別な工夫というか、配慮されているところがあるのでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 各学校に特別支援学級を設置する方向で動いているところではございますが、まだ川柳小学校については設置していない状況です。高学年校舎が完成する令和8年4月に特別支援学級を設置する方向で考えているところでございます。現在については特別支援学級がございませんので、特別支援教育支援員あるいは教育センターの指導主事を派遣して、特別な配慮を要する児童に関して適切な支援を行っている状況でございます。

吉田教育長 特別支援学級を増やしたいところなのですけれども、指導者の確保あるいは物理的な理由、学級数、空き教室等の関係等を踏まえて、一気にはできないところです。

吉田教育長 教育センター所長。

菊池教育センター所長 特別支援学級につきましては、市内全校設置を掲げておりまして、現在、川柳小学校と光陽中学校の教室がない事情で、この後、令和8年度、9年度設置で100%になる見込みでございます。また、年々予算の関係もございまして、そもそもそういう該当の子どもがいるかという問題もありますが、慎重に総合的に判断しながら、年間3つぐらいの学校に新設あるいは増設、具体的に言うと知的学級しかない学校に自閉・情緒学級をつくる等を計画的に進めているところでございます。

山口委員さんの質問に対しての補足として、川柳小学校は特別支援学級がありませんが、年次経験者研修の中で初任者や5年目、10年目の教員に特別支援に係る研修を行っています。また、市内全小・中学校で、年間2回、大学教授等の専門家を招いて発達支援訪問という指導を行っています。具体的に申し上げますと、通常学級にいて特別な支援を必要とする子どもに対して、全教員でその子についての行動をよく見て、どんな支援が必要かというアドバイスをいただくというを行っています。さらに特別支援学校と巡回のアドバイスをいただく機会や、特別支援学校の在籍する子どもが小学校に来て、支援籍学習というのですが、そこで過ごしながら、子どもの心の教育、一緒にみんな同じ仲間だということを実感する、交流及び共同学習も行っております。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 ノーマライゼーションという言葉があったと思うのですけれども、なるべく支援が必要な子どもたちも普通学級でみんなでやれるというのはむしろいいことだと思って、そのためにいろいろな配慮をしていただけているのであれば、それはすごくいいことだと思って、ご質問いたしました。今のご説明を聞いて、大変だと思いますけれども、よくやっていただけているなと思いました。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 川柳小学校学区にお住まいで特別支援学級をご希望のお子さんについては、他の学校の特別支援学級に通われているということによろしいのですよね。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 おっしゃるとおりでございます。

吉田教育長 当然ながら通常学級在籍を望むお子さん、保護者がいらっしゃれば、そういった方向でも受け入れているところがございます。

他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 特別支援学級を希望する児童数の推移というのが分かればお伺いしたいです。

吉田教育長 具体的な数字はないのですけれども、毎年増加傾向にあります。総体的な人数は減っているのですけれども、特別支援学級、特別に配慮を要する児童生徒は右肩上がりになっています。かなりの勢いでというふうに判断をしていただいていると思います。

教育センター所長。

菊池教育センター所長 本日の教育委員会会議の資料で、学級数は増えているというのがお分かりかと思いますが、私の手持ち資料に人数の推移がございますので、参考でお話をさせていただきます。

一般的に、基準は1クラス8人で学級は編成されていますが、学年ですとか種別によって若干変わるところもございます。それを前提に、特別支援学校の小学校は、平成28年度は特別支援学級に行っていた子が240名でございますが、年々増えて今年度については表のとおり569名と、倍以上となっております。中学校につきましても、平成28年度は113名でしたが、今年度については248名と、やはり倍以上になっているところがございます。

吉田教育長 保護者、児童生徒との合意形成を図る中で、通常学級に入っているお子さんもいらっしゃいます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 「令和5年度児童生徒結核精密検査の実施状況について」

吉田教育長 続きまして、「令和5年度児童生徒結核精密検査の実施状況について」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、会議要項の41ページをお開きいただきたいと思います。

令和5年度児童生徒結核精密検査実施状況について、ご報告いたします。在籍児童生徒数2万5,883人、結核検診実施者数2万5,336人、未受診者数547人で、実施割合は97.9%でございます。未受診の主な理由は、長期欠席や健診日に欠席したためなどでございます。

また、内科検診等の結果、越谷市立小中学校結核対策検討委員会での検討が必要となった要検診者は41人で、当該委員会の検討の結果、41人全員が精密検査の必要な要精検者となりました。

なお、令和6年3月31日現在の精検実施者は32人、未受検者9人でございます。また、未受検者につきましては、現在も引き続き指導中であり、今後保護者から学校に報告書の提出、学校から学務課への受診結果の報告が提出される予定でございます。さらに精検実施後の結果でございますが、32人全員が異常なく健康でございました。

今後も健康診断の未受診者及び精密検査の未受検者がいる場合については、受診あるいは検査を受けるよう、引き続き保護者に働きかけを行ってまいりたいと存じます。

報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

東委員。

東委員 未受診の主な理由で不登校ぎみやフリースクール、おあしす等に通学のため、健診日に欠席したからというご説明があったのですが、当日欠席した場合に代替の日等の方法は案内をしているのでしょうか。あるいは、1回欠席したらしないということなのか、教えていただきたいのが1つです。

それから、未受検者のうち海外からの編入や宗教上の問題で、そもそも最初の受診をしないというのはどういうことなのだろうというのが2つめの質問です。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 各学校では内科検診の日を複数日設定している場合がございますので、初日にお休みした場合には、例えば他の学年でも来た場合にそこに入れていただいて、診ていただくという対応を取っております。

また、41ページにある宗教上の問題等のためというのは、他人に肌を見せることはできない、学校の先生の前で服をたくし上げたりができないという理由で受診できなかったと報告を受けております。なお、その生徒に関しましては、かかりつけ医のところに行ってきちんと検診を受け

て、問題なしと報告を受けております。

吉田教育長 何かございますか。

山口委員 結核というのは本当に公衆衛生の問題ですので、粛々とやっていかなければいけないと思いますし、今後もやっていきたいと思っています。

吉田教育長 医師のお立場でお答えいただきました。ありがとうございました。

他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 全生徒の検査を実施することは大変なことだと思うのですが、まだいる未受検者9名へのアプローチは、病院に行ってくださいねと促すということで間違いないでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 おっしゃるとおりでございます。機会を捉えてそのように進めているところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 「越谷市立小中学校学区審議会答申について」

吉田教育長 続きまして、「越谷市立小中学校学区審議会答申について」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、越谷市立小中学校学区審議会答申について、ご報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の43ページをお開きください。

本答申は、令和4年8月26日付にて当審議会に対し諮問した「川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定について」の答申でございまして、令和6年3月19日に開催された令和5年度第4回越谷市立小中学校学区審議会において提出されたものでございます。

続きまして、会議要項の44ページをお開きください。これまでの経緯を踏まえた最終的な答申の内容でございます。当該ページ「川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定について」にもございますように、当審議会にて継続審議されておりました（仮称）川柳中学校の通学区域につきまして、現在光陽中学校の通学区域の一部である川柳町一丁目～川柳町五丁目、蒲生四丁目、レイクタウン五丁目（12-2、14～37）、レイクタウン六丁目、レイクタウン七丁目を令和9年4月から（仮称）川柳中学校の通学区域とすることが望ましいとされております。

また、当該審議会から付帯意見として、小中一貫校設立に向けた事業についての地域並びに学校関係者や保護者へ情報発信をし、理解を得ながら事業を行うことや、コミュニティ区と小中学

校の通学区域の整合性及び小学校と中学校の通学区域の整合性等についての調査研究に取り組むことなどの意見もありました。

教育委員会事務局といたしましては、当該審議会答申を踏まえて、今後光陽中学校及び（仮称）川柳中学校の通学区域の見直しを進めるため、「越谷市立小学校及び越谷市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則」の規則改正の準備を進めてまいります。規則改正の時期といたしましては、（仮称）川柳中学校の校名が決定し、越谷市立学校設置条例の条例改正を受けまして、令和7年1月の定例教育委員会会議に議案として提出してまいりたいと考えております。

越谷市立小中学校学区審議会答申についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 今年は学区審議ではどういったことを話し合っていくのか、予定があるのかということをお聞かせいただければと思います。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 現在のところは検討中ということでございます。ただ、今回の答申の付帯意見もございましたので、そのことを踏まえて検討してまいりたいと考えているところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 生徒数が減っている中で、（仮称）川柳中学校を造る意味を簡潔にご説明いただけるのであればお願いします。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 本市は、平成27年度から小中一貫教育を進めております。第1期の5年間が終わり、第2期に入っているところでございます。その中で、より一層小中一貫教育を進化させる必要があるという点、もう一つはレイクタウン地域の児童生徒数の増加に関しての対応を考慮し、小中一貫教育をさらに進めていくためには、小学校と中学校の一体型の校舎と川柳小学校の高学年校舎を設立する、このような形で3学園構想を進めてきた背景がございます。

実際に、川柳小学校については、令和11年には1,500人を超えることが見込まれる状況で、校舎の分離をしなければならない、それとともに、近隣地域には小中学校4校があり非常に小中一貫教育を進めるには立地的にもやりやすい部分もございまして、蒲生小学校、南中学校、蒲生南小学校による蒲生学園も含め、市全体としては生徒数が減なのですけれども、児童生徒数が増える、そして小中一貫教育の推進のために、この構想を進めているところでございます。

吉田教育長 住民基本台帳上からですけれども、他の小学校は大体生徒数が減少傾向で、川柳地区については増加傾向にあるということで、ここ5年から6年は続くということになります。ただ、

では先々10年も20年も続くのかというと、そういうことではないのですけれども、今のところは増え続けているというところでございます。

山口委員。

山口委員 そうすると、例えば20年後、30年後、人口減になったとしても、やはりこの体制が一応ベストだというご判断をされての決定ということですね。

吉田教育長 このことについては、将来的な人口推計をきちんと把握していかなければいけませんけれども、一般的に一気に増えたところは一気に減る傾向にあるのです。ですので、例えば春日部市の武里団地自治会、三郷市の団地自治会、それから一気に増えたところでは幸手市香日向があるのですけれども、ここは集合住宅ではなくて一戸建ての住宅がたくさんできたのですが、ここにできた小学校も廃校になってしまいました。一気に増えたところは一気に減るというのはございますので、そうしたところを総合的に勘案して、この3学園構想をやっていく中で、将来のいわゆる人口減少にも十分耐え得るというふうに考えているところでございます。よろしいですか。

学務課長。

磯山学務課長 おっしゃるとおりでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 「越谷市立大袋小学校水泳授業委託について」

吉田教育長 続きまして、越谷市立大袋小学校水泳授業委託について、指導課長から説明いたします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、越谷市立大袋小学校水泳授業委託について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の45ページをご覧ください。

はじめに、令和6年度越谷市立大袋小学校水泳授業委託受注者についてでございますが、令和6年2月9日の入札において、株式会社イナホスポーツスウィン越谷スイミングスクールが受注することに決定し、2月15日に契約いたしました。受注額は567万9,520円です。

スウィン越谷スイミングスクールの所在地につきましては、越谷市下間久里384—1であり、大袋小学校からの経路は約4キロメートル、移動時間はバスで10分程度になります。施設の概要につきましては、縦25メートル、横12メートル、幅2メートルの6コースで、水深は1.1メートルで、低学年用の足場となるプールフロアは18台あり、約1コース設定することができます。ロッカー数は男女各240個あり、児童専用の更衣室を確保することができております。移動方法につきまし

では、スイミングスクール所有の27人乗りのマイクロバスを4台使用いたします。引率については、教員が3名の場合、運転手以外に受注者から1名引率していただけることになっております。

指導に係る日程や水泳授業の内容につきましては、令和5年9月定例教育委員会会議でご説明したとおりでございますが、学習指導要領や大袋小学校の年間指導計画にのっとり、令和5年度の大袋小学校の水泳授業と同様の内容で実施できるよう、仕様書の内容に沿いまして契約します。なお、水泳授業の詳細につきましては、大袋小学校の各学年担当教員と受注者で打合せを行っております。

次に、水泳授業に係る日程でございますが、資料に記載されている2月及び3月の日程につきましては滞りなく進めることができ、4月につきましても学校と受注者における打合せや保護者説明会などを実施しているところであり、5月以降授業が開始され、7月には水泳授業が終了する予定でございます。その後、アンケートを実施しまして、検証を行ってまいります。その検証結果も参考にしながら、令和7年度を目途に、越谷市における水泳授業の在り方について検討し、方向性を示してまいりたいと思っております。

越谷市立大袋小学校水泳授業委託についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 既に教育委員会でも水泳授業の内容について打合せ等は進めているというご説明ですが、幾つか質問させていただきたいのです。まず受注者がスイミング越谷スイミングスクールになったということなのですか、他にこの事業に手を挙げた事業者はいたのかということ。次に、スイミングスクールということで、この授業の間は一般の利用者は利用しないということでしょうかということ。次に、教員と一緒に入水するかどうかということ。次に、授業参観ができるようなのですけれども、これは保護者に限っていつでも授業参観ができるのかということをお聞きしたいと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 受注しました事業者に関しましては、指名競争入札という形で選びまして、大袋小学校からあまり時間がかからない、4キロ圏内のところにあります。インストラクターの人数など制限がありますので、今回受注いたしました株式会社イナホスポーツと株式会社東武スポーツの2社の入札ということになりました。

続きまして、大袋小学校が利用しているときに他の利用者の方はどうかということですが、他の利用者の方も利用いたします。ただ、小学校が利用するプールとは壁を隔てまして、別の少し小さめのプールがございまして、そちらを利用する形になります。例えばロッカー、更衣室等が全て別になりまして、入り口の部分だけ多少接触するところがあるのですけれども、それ以外は例えば右側が大袋小学校が使うプール、左側が一般利用者という形になりますので、接触

は極力ないようにしております。

続きまして、大袋小学校の教員がプールに入るのかという件に関しましては、主に指導の主体は大袋小学校の教員、先生方がしていただきます。基本はプールに子どもたちと一緒に入っていただくという形になります。ただ、インストラクターの方は専門的なことを一緒に教えていただくという形になりますので、プール外で見ているということもあるかと思います。基本は教員もプールに入るという形になります。

最後のご質問ですが、保護者の方の参観ということにつきましては、こちら事業者の確認をいたしましたら、保護者の参観は結構だ、大丈夫だということだったので、こちらも学校の判断ではございますけれども、保護者の授業参観などで利用できるかと思います。

吉田教育長 ALTと同じように考えていただければ。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 効果の検証になってくるのですけれども、最終的には子どもの授業がしっかりできるということと、併せて教職員にもアンケートを取る予定のようですけれども、管理に要する時間、あるいはそれに伴う費用、そういったものも勘案して、ぜひ効果の検証をしていただけるといいと思いました。恐らく、少し移動の時間がかかるのですけれども、学校での当番制でやっている、例えば薬をまく等の管理業務はなくなるので、一定程度教員の負担軽減、メリットになるのかなと考えます。その辺りもぜひ効果の検証の中で入れていただけるといいと思いました。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 野口委員さんのおっしゃるとおり、効果の検証をしっかりとしていきたいと思えます。確かに教員が関わる負担というのも大分軽減されたりとか、これによって教員自体も専門的な知識も学べたりということもあって、プラスになるのではないかなと思っております。今年度実施してみて、検証していきたいと思えます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 スイミングスクールのプールを使用するというので、屋内プールで天候にも左右されず、メリットがたくさんあると思うのですけれども、どのような授業をしていくか、すごく興味があるので、報告を楽しみにしています。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 基本的には、今までの大袋小学校で行っていた学習指導要領に沿った水泳授業になっていきます。ただ、そこにプラスして、先ほど申し上げたようなインストラクターさんの専門的な技能であったり知識であったりというのがプラスされていくのではないかなと思っております。

ので、検証してまいりたいと思います。

吉田教育長 随時報告できることがあれば報告をお願いします。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 1点確認なのですが、緊急時の対応というのがどうなるのか、特にすぐ救急車を呼ばなくてはとか、一次救命をやらなくてはとかといった場合、誰が責任持ってやるというような仕組みになっているのか。その辺の説明をお願いしたいと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 水泳授業につきましては、教員が主に基本的にはプールに入って指導しておりますので、また学校と事業者と連携をいたしまして、緊急時には対応していきたいと考えております。

もちろんインストラクターも専門性がありますので、救命の心肺蘇生法等の知識や技能がありますし、教員においても毎年それを学校の研修で心肺蘇生法やAEDの対応について行っておりますので、やはり今まで同様に基本は学校でプールの授業で起きたときの救急対応と同じになりますけれども、例えば教員ではなく、専門のインストラクターがプールで教えているときに起きたという場合には、インストラクターの方々もそこはやっていただけるようになっています。

吉田教育長 学校には危機管理マニュアルというのがあるから、きちんと位置づけて対応していくようにしていかないといけないと思いますので、東委員さんから言われたこと等についてはきちんと定めてお願いいたします。

山口委員。

山口委員 スイミングスクールにもAEDはあると思うのですが、学校でチェックしているようなバッテリー、いろいろな消耗品、パッドの有効期限、そういったものもスイミングスクール任せにはしないで、先生方でもちゃんと目視して確認していただけるようにお願いします。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 おっしゃるとおり、その辺りもしっかり確認していきたいと思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、出されたことを踏まえて進めてください。

他になければ以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、5月30日木曜日午前10時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

[「異議なし」と答える者あり]

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いをいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。ありがとうございました。

(午前11時45分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉田 茂

委 員

渡辺 律子

委 員

野口 久男

委 員

山口 文平

委 員

東 宏行

委 員

足立 寛

書 記

教育総務課調整幹

鈴木 理香